気高地域のくらしと公共施設を考えるワークショップ

News letter

2026 VOL. 01

鳥取市では、将来にわたって公共施設を安心して使い続けていけるよう、施設の再編を検討しています。その取り組みとして、現在「気高地域のくらしと公共施設を考えるワークショップ」を開催しています。「このまちでどんなくらしをしていきたいか」、「そのためにどんな施設が必要か」を、全２回のワークショップを通じて地域のみなさんと一緒に考えていきます。



これからの公共施設を考えるキャラクター
とっとりん

第１回

施設のこれからを くらしの視点で見つめる

日　時：１０／１７（土）
　　１４:００～１６:３０
会　場：気高保健ｾﾝﾀｰ
　　（ゆうゆう健康館けたか）
参加者：１４名（４グループで編成）

Topic1 たたき台を見る視点を設定する

ワーク１では、事前アンケートの結果を見ながら次のワークでたたき台を見るための視点を整理し、グループ独自の新たな視点を話し合いました。



Topic2 たたき台の改善の方向性を考える

ワーク２では、２つのたたき台(※)の良い点・心配な点・改善したい点について整理し、それぞれの改善の方向性を検討しました。
(※)たたき台…市が結論を決めたものではなく、参加者の皆さんと一緒に考え、意見を出し合うための出発点となる資料

Topic3 全体共有 ～次回に向けて～

ワークショップの最後には、各グループが話し合いの内容を発表し、たたき台２案の改善の方向性や、第２回で中心に考えたい内容などが全体共有されました。
次回は、具体的な改善アイデアを深掘りし、再編案としてまとめます。実際の活動や将来へ繋がる多角的な視点でまとめることを目指していきます。







発行：鳥取市役所総務部資産活用推進課 施設経営係